

# しらすぎ通信

理念:「個の尊重」「安心と信頼」を大切に、  
質の高いサービス提供を目指します。

第 157 号

■発行日:平成31年1月

■発行:指定管理者

公益財団法人横浜市総合保健医療財団

■発行責任者:総合相談室長 伊藤未知代

〒222-0035

横浜市港北区鳥山町1735番地

電話 045(475)0103

FAX 045(475)0101



「平成最後の年を迎えて」  
センター長 岩成秀夫

新年あけましておめでとうございます。つつがなく新年を迎えることができましたことは皆様方のお蔭と心より感謝申し上げます。

さて、本年は多くの日本人にとって節目になる年です。5月1日に新天皇が即位されるとともに、元号も改まることになりました。元号などは時代錯誤という批判もあるでしょうが、伝統を大切に守りつつ新しいものを取り入れてきたのが日本社会の良い所です。

この節目の年を迎えて当センターの今までとこれからを少し考えてみましょう。平成4年に、当時横浜市が手を付けていなかった幾つかの事業をまとめて一つの複合施設として誕生したのがこのセンターでした。バブル景気の時代に計画・設計された当センターは、立派な建物というインフラが整備され、これは今でも大切な財産となっています。しかし、平成に入って間もなくバブルは崩壊し、失われた20年という経済低迷期とともに歩む運命となりました。そして平成の30年間にわが国の姿も大きく変わろうとしています。少子高齢化が現実のものとなり、超高齢化社会に突入するとともに、認知症高齢者の方の激増と多死社会が眼前に迫ってきています。

当センターの使命の一つに、要介護高齢者や認知症高齢者の方の地域生活支援がありますが、まさにその使命を果たすべき時代がやってきていることとなります。そのため当センターでは連携型認知症疾患医療センターとして多くの認知症鑑別診断をこなし、率先して認知症初期集中支援チームや若年性認知症支援コーディネーターの事業にも取り組んできました。また介護老人保健施設であるしらすぎ苑(1階は要介護高齢者50床、2階は認知症高齢者30床)は入所サービスを提供する施設として、長らくご愛顧いただきました。しらすぎ苑のある2階には通所リハビリテーション部門もあり、ご利用者には個別にリハビリを行っております。その他、本館4階にはシニアフィットネス部門があり、認知症予防に取り組んでいます。なお、当センターには19床の診療所病床があり、主に寝たきりの方のケアも行っております。しらすぎ苑と診療所病床は相互に連携しながらご利用者様の医療と介護を提供できるようにしています。

当センターの建物は耐震性を考慮した立派なものですが、すでに26年経過しており、設備や内装は老朽化が目立つようになりました。それらを少しずつ更新しながら、皆様方に快適にご利用いただけるよう日頃努力をしているつもりです。元号の改まる新年を機に、職員一同気持ちを新たに、さらに質の高いサービスが提供できればと願っております。本年もよろしく願い申し上げます。

## 2月の予定

- 1日(金) 節分 昼食は恵方巻。  
今年の恵方は 東北東 です。
- 3日(日) 節分 14時~15時 1階 2階
- 11日(月) うたごえさろん 14時~15時 1階
- 13日(水) コーラスクラブ 14時~15時 2階
- 14日(木) バレンタイン  
15時のおやつはチョコレートレートムース!
- 15日(金) 民謡の会 14時~15時 1階



- 20日(水) しらすぎ大飯店 開店!  
12時~14時 1階 2階  
海老マヨネーズ和え  
ブロッコリー蟹あんかけ  
点心(錦糸シウマイ、桃まんじゅう)
- 25日(月) うたごえさろん 14時~15時 2階
- 27日(水) コーラスクラブ 14時~15時 1階

食形態により  
内容を変更する  
場合があります。



行事はインフルエンザなど感染症の流行状況により、中止とさせていただく場合があります。予めご了承ください。



あけましておめでとうございます  
今年もよろしくお願ひいたします!



今年も皆さんの笑顔  
で始めました!



コーラスグループ『夕なき』の  
皆さまによる素敵な歌声!



年忘れ会の様子



本格派バンド『ひものがり』  
の皆さまによるコンサート!



本格的なインフルエンザ流行期に入り、小学校の学級閉鎖も出ているようです。  
当施設におきましても、感染症防止対策を強化しておりますが、引き続き「咳・鼻水・発熱」「嘔吐・下痢」等の症状がある場合のご面会はお遠慮いただきますようお願いいたします。  
本年もよろしくお願ひいたします。